

平成25年度 胎内市社会科部 活動報告

部長 本間 裕

1 研究主題

地域教材を効果的に活用し、社会的思考力を高める授業のあり方

2 研究内容の概要

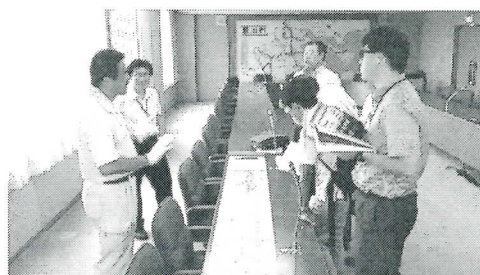
(1) 第1回部会 「事業計画の立案」 会場 黒川中学校 15:30～ 参加者11人

(2) 第2回部会 「地域巡検」 会場 胎内市各所 9:00～ 参加者10人

① 講師 水澤 幸一 様 (胎内市教育委員会)

② 概要

江上館跡、古館館跡、城の山古墳などの胎内市の遺跡巡りを行い、教材研究の機会とした。また、胎内市役所にて国指定重要文化財「波月条絵図」、旧柴橋小にて胎内市で出土した土器類や昔の生活用具などを見学して、知見を深めた。



(3) 第3回部会 「授業研究会」 会場 中条小学校 13:55～ 参加者:13人

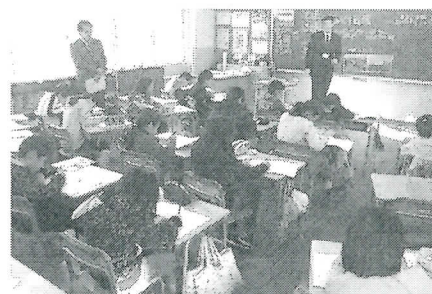
① 授業者 石井 良太 (中条小学校)

② 指導者 津野 治彦 様 (新潟市立曾野木小学校 校長)

③ 単元名 第4学年「わたしたちの県のまちづくり」

④ 概要

新潟県の交通の広がり「ひみつ」を複数のクリアシートを活用することで気づかせる学習であった。学習課題の立て方や課題の設定のさせ方、児童一人一人に十分に思考させたり、記述させたりすることの重要性について協議が行われた。また、児童が追究したくなるような課題をいかに設定できるかが社会科の命であることを参会者全員であらためて確認することができた。



3 成果と課題

(1) 成果

市内の小・中学校の社会科を担当する職員が地域の遺跡や土器・古文書・生活用具等を見学できたことは意義深いことであり、今後の地域学習に生かしていくことができる。

また、小学校で行われている授業を中学校の職員が参観し、協議会で授業を振り返ることができたことは、小・中学校の社会科指導のあり方について考えるよい機会となった。部員のアンケートにも授業を通して学ぶことが大変有意義であったという記述が多かった。社会科の学習に精通している指導者を招き、御指導をいただいたことは、それぞれの授業を振り返るよい機会となった。

(2) 課題

小中連携を視野に入れた事業のあり方について一考を要する。年度初めに行われる1回目の部会で、どのような内容で取り組むかを検討することが重要となる。